



茜の空

令和7年度 第1号

発行日 4月9日(水)

練馬区立石神井南中学校

校長 木原 賢三

令和7年度のスタートに当たり

校長 木原 賢三

正門の桜も花開き、春の息吹を感じる季節、108名の新1年生を迎え、全校347名の生徒とともに令和7年度がスタートしました。緊張の中、新しい学校生活への期待と希望にあふれ、まっすぐなまなざしを向ける新1年生、そして、誇れる上級生と一步を踏み出した2、3年生。新しい学年で夢や目標に向かってスタートした生徒たちが、「自分らしさとは何か」「自分とはどのような人間なのか」自分探しに取り組み、自分の生き方を自己決定できるよう、新たな気持ちで教職員一同、力を合わせて地域の宝である子どもたちの育成に努めてまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

本校では、「挨拶は心の窓を開く第一歩」をスローガンに「おはようございます」「こんにちは」笑顔で気持ちのよい挨拶が地域や学校で交わされています。石南中の素敵な挨拶は、良き伝統となっています。生徒たちのこれからの生活において、多様な人々との新たな出会いがあり、様々な人々と良い関係を築きながら、人として大きく成長していきます。人と人とのつながりを持ち、人間関係を深めていくために、挨拶が大切です。挨拶を通してお互いを知り、コミュニケーションを深めながら、初めは見知らぬ者同士だったのが、知人になり、友人になり、人と人との関わりを深めていきます。中学校生活での関りが社会に出て活躍していくための第一歩となっていきます。

保護者の皆様、お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。生徒たちは新しい春の訪れとともに、新たに新しい学年への期待感、引き締まった緊張感がみなぎっているように思えます。生徒の皆さんが「石神井南中学校プライド」をもち、自信と誇りをもって中学校生活をおくることができるよう、積み上げてきた本校の素晴らしい教育活動を継承するとともに、全力を尽くして更なる教育の推進を目指していきます。さて、本校では、多様性の時代に、主体性と寛容性を併せ持ち、他者と力を合わせてより良い社会を創る人を教育目標に掲げ、教育活動を行っています。気持ちの良い挨拶あふれる学校をめざし、挨拶を通して、生徒同士、生徒と教師が関わりを深めて、より良い人間関係を育てていくとともに、石南中の生徒が社会にでて活躍することができるよう指導・支援を行います。今後とも保護者の皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

《 教 育 目 標 》

〈多様性の時代に、主体性と寛容性を併せもち、他者と力を合わせてより良い社会を創る人〉

(1) 自分と他者を共に認める人 (2) 自ら学び、社会で生かせる人 (3) 自他の健康を考え、実践する人

教育目標の達成を目指し、生徒たちにとって、そして学校にとって大きな成果が上がるように様々な教育活動を実践して参ります。その中で、生徒一人ひとりの自己有用感を高めることにより、個々の自立と社会の一員としての自覚を深めさせていきます。また、生徒には「思いやりの心」をもち、「自らすすんで学ぶ姿勢」と「自立する姿勢」を育ててまいります。価値観の多様化や多様性がすすむ変化の激しい社会の中で、他者の気持ちになって気遣いができ、他者の意見や考えを尊重し、寄り添える人、自らすすんで考え、行動し、地域社会において活躍できる自立した人に成長してほしいという願いからです。主役である生徒たちが石神井南中生でよかったと実感できるよう、より一層保護者・地域の皆様から信頼される学校にまいります。生徒たちの健やかな成長は、家庭と地域と学校が一体となって見守っていき、それぞれが責任を果たし、互いが協力・連携を図りながら育てることで実現できると思います。本年度も保護者の皆様のご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。